

〔夫木和歌抄二七一〕

百敷にすみかさだめよひたきどりなれがやどりも庭にみゆめり

十題百首

寂蓮法師

源師光

思ひかね柴とりくぶる山里を猶さびしとやひたきなく也

〔武江産物志〕山鳥類

ひたき白山邊ひたきひたきひたきひたき等有

〔本朝食鑑六〕鷓訓志

釋名赤腹俚俗據色之名按字書鷓者與鶴同今借用歟未詳

集解鷓大如雀頭背翅蒼灰色腹赤聲短不嘯其味最佳性能成群故捕之者窺其成群而於庭上散餌以待之群鷓拾食則投網取之一舉數百或為媒設搯亦捕之

〔和漢三才圖會四十三〕鷓訓志

正未詳 一名赤腹アカハラ 俗云志奈比

按鷓者百舌鳥之屬形大亦相似而背灰蒼色腹赤其聲短能群飛故多易捕於其來處撒餌張罟或以圍取之炙食味美

〔喚子鳥下〕あかあつつははらら

ままががひひ 生生分分ああををみみ入入 粉粉壹壹分分

大ききささつつむむぎぎにおおななじじにに小ひよぶぶりりつつむむぎぎのの類類なりなりせせははああををくくろろくくははららかかばばにああかかししささへへづづりりよよろろししかかららずずふふゆゆいいづづるる

〔武江産物志〕山鳥類 あかはら千住砂村邊

〔嗑囊抄〕鳥類字 鷓スガ

〔饅頭屋本節用集生奴類〕鷓スガ

〔本朝食鑑六〕鷓訓志加加不不知知有有鷓訓志義義乎乎

集解鷓似四十雀而極小色灰白帶青聲清圓多轉味不為佳一種色赤鮮明者稱テリスガ照照者光明也

鷓鳥

鷓